

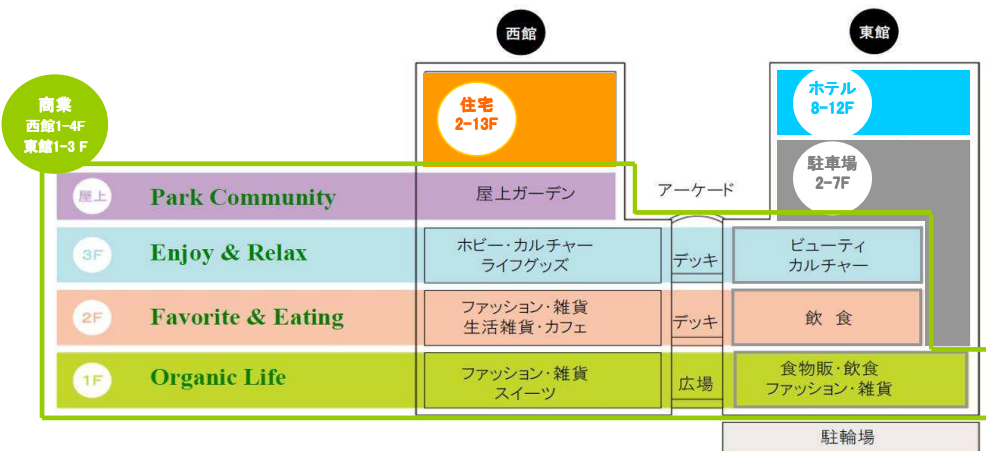
<参考①>丸亀町グリーン 施設概要

「住む、集う、遊ぶ、学ぶ、憩う」など多様な機能を備える複合開発

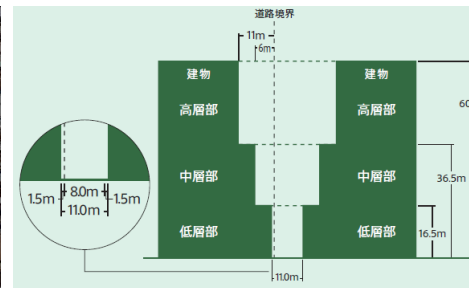
丸亀町グリーンは、400年以上続く歴史を誇る高松中央商店街の一つである高松丸亀町商店街の再開発事業として、高松丸亀町商店街G街区市街地再開発組合が、約20年の歳月をかけて推進してきたプロジェクトであり、2012年4月に開業しました。

まちなか居住の推進と来街者も憩えるゆとりある商空間の創出を目指し、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的に、55店舗の商業施設とホテル、住宅、広場、駐車場、駐輪場等を集積させた複合施設です。

商店街を挟んで西館、東館の2棟を建築し、その屋根上に新アーケードを設置することで、広場を商店街と一体的に整備。緑あふれる広場を中心に、渡り廊下で商業施設を回遊できるよう工夫しています。また、大規模な都市型広場を設けることで、賑わいやくつろぎ、溜まれるゆとりある空間を来街者に提供。商店街の賑わいの核として、コミュニティイベントやプロモーションイベントなど多様なイベントを仕掛けています。



良好な都市景観形成のための主な工夫点



- 1.高層部、中層部、低層部と3段階に分けてそれぞれ高さおよび壁面位置に制限を設定。低層部については十分な歩行者空間を確保するため、従来の幅員(8m)から東西両側に1.5mずつ後退させることで、幅員11mを確保。土地の合理的かつ健全な高度利用を図りながらも、中心商店街としてふさわしい調和のとれた街並みを形成。
- 2.東西2棟の屋根を活用した柱のないアーケードにすることで、すっきりとした店舗の連続性ある景観を創出。
- 3.店舗のシャッター導入を禁止し、ショーウィンドウを義務化。また路面店舗、広場店舗へのオーニングの設置も義務づけ、施設閉館時にも施設に温かみと彩りを与え、心地よい環境を演出。
- 4.緑あふれる広場の整備、屋上緑化、神社の再築。災害時にも利用可能な井戸を整備。

街の新しい顔となった賑わいとふれあいの広場「けやき広場」



丸亀町グリーンの東西をつなぐ1階中央スペースには、シンボルツリーの「けやき」のもと、地域の方々や来街者の方々が集える場所として、吹抜け広場を整備。この開放的な空間では、森ビルが六本木ヒルズで培った「タウンマネジメント」のノウハウを活かし、季節ごとに様々なイベントを開催し、街の賑わいを創出。また、施設の2階と3階には、東館・西館をつなぐ渡り廊下を設置。広場で行われるイベントや商店街を行きかう人々を眼下に臨みながら、施設全体を回遊性を高めている。

ソラ見える都心の屋上ガーデン「テラスガーデン」



4階には、都心の真ん中で空や風、季節の移ろいといった自然を感じながら誰もが気軽に利用できる屋上ガーデンを整備。安心して子供を遊ばせることも可能な、地域の人々に愛されるくつろぎのテラスガーデンを創出するとともに、環境への配慮している。

森ビルが蓄積してきた商業のノウハウを活かし、店舗リーシング業務をサポート 四国初出店店舗を含む、日常を豊かにする個性豊かな55店舗が集結



丸亀町グリーンの商業施設は、「日常を豊かに楽しく過ごすこと」に関心の高い人々をイメージターゲットに、四国初・香川初出店の18店舗や、新業態店舗10店など、地域にこれまでにない魅力をもたらす個性豊かな55店舗が集結。六本木ヒルズや表参道ヒルズ、ヴィーナスフォート、ラフォーレ原宿など、大型商業施設で森ビルが長年蓄積してきた商業施設のノウハウを基に、本事業の店舗リーシング業務においてもサポートしています。

<プロジェクト概要>

プロジェクト名称：高松丸亀町商店街G街区第一種市街地再開発事業

所在地：香川県高松市丸亀町7-16、8-23、他

※JR「高松」駅より徒歩約15分、ことでん「瓦町」駅より徒歩約7分

事業主：高松丸亀町商店街G街区市街地再開発組合

業務代行者：森ビル都市企画株式会社

運営者：丸亀町グリーン株式会社（商業部分のみ森ビル都市企画(株)が運営を受託）

用途：商業(55店舗)、住宅(96戸)、ホテル(175室)、駐車場(402台)、駐輪場(600台)、他

階数：西館(地下1階、地上13階)、東館(地下1階、地上12階)

区域面積：約1.2ha 敷地面積：約8,800m²

延床面積：約44,000m²

着工：平成22年11月

竣工：平成24年3月

<森ビル都市企画受託内容>

全体推進業務、再開発コーディネーター、再開発組合事務局支援、権利変換計画作成、設計関連業務、工事監理、施設計画、テナント誘致等